

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

トリクロサンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

第08013号

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：トリクロサン
- 2) 曝露方法：半止水式(24時間毎に全量換水)
- 3) 曝露期間：21日間
- 4) 連 数：1濃度区 4連
- 5) 供試生物：オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 6) 生物数：40頭/1濃度区(1連につき10頭, 1濃度区40頭)
- 7) 試験水量：400ml
- 8) 試験水温：20±1℃
- 9) 照 明：室内光, 16時間明/8時間暗
- 10) 餌 : *Chlorella vulgaris*
- 11) 給 餌：ミジンコ1頭当たり0.1~0.2mgC(有機体炭素含量)/日の割合で与えた。
- 12) 試験濃度：試験1回目；対照区, 助剤対照区, 5.6, 10, 18, 32, 56, 100及び180µg/L
試験2回目；対照区, 助剤対照区, 0.056, 0.10, 0.18, 0.32, 0.56, 1.0, 1.8, 3.2及び5.6µg/L
- 13) 試験水中の被験物質の分析：高速液体クロマトグラフ法(開始時及び1日後の換水前, 7日後の換水後及び8日後の換水前, 14日後の換水後及び15日後の換水前)

結 果

- 1) 21日間の親ミジンコの半数致死濃度
LC50 (21days) = 140µg/L (95%信頼限界：算出せず)
- 2) 21日間の50%繁殖阻害濃度
ErC50 (21days) = 5.5µg/L
- 3) 最大無作用濃度 (NOECr) = 0.34µg/L
- 4) 対照区と有意差の認められる最低濃度 (LOECr) = 0.60µg/L
(上記濃度は, 全て実測値に基づく値)